



謹賀新年

皆様あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。年末年始はゆっくり過ごされ鋭気を養われたことと存じます。

ご承知のとおり日本経済は長いデフレの期間が過ぎ、今や物価高騰が第一の関心事となるまでに変わりました。これに対する価格政策、デジタル化、働く環境改善などの諸課題に速やかに企業挙げて取り組むことがますます大事な年になります。

令和8年度税制改正大綱では、「年収の壁の引上げ」を始めとした物価上昇対応など多岐にわたる内容で閣議決定されました。2枚目の内容を是非御覧ください。

他方で国税庁はDX化を図っており、次世代基幹システムを今年9月に導入する予定です。紙からデータによる一元管理、税目間の縦割り管理からの脱却等が目的です。納税者側の利便性向上が期待される一方で、情報が集約されていくことや税務調査のやり方が変化することも予想されます。

弊事務所はこのような状況の変化に対応し、お客様が安心して経営ができるお手伝いをしていくため一層努力してまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

公認会計士・税理士 植村 義弘

昨年は皆様方に大変お世話になりました。本年も引き続き宜しくお願い致します。

不安定な情勢ながら世界的に経済活動が活発になり、国内でも同様に物価・金利が上昇し、経済的に好転していく場面に移りつつあります。一方で事業環境としては人件費・経費の上昇に応じた難しい運営が求められると想定されます。今後、事務業務全般で効率化・DX化がより進んでいくものと予想され、会計事務所としても効率化を進めるとともに、会計業務関連で対応が求められる事項について、皆さま方の一助となるよう活動してまいります。

公認会計士・税理士 大倉 然

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は丙午(ひのえうま)で、エネルギーが溢れる大飛躍の年といわれます。今年の景況見通しに関する各調査会社の発表でも、人手不足や利上げ等の課題はあるものの、高市政権の政策による経済の回復成長を期待する企業が増えているようです。税制改正その他様々な情報の提供を通じ、伴走者として皆さまの経営を支援してまいりたいと思いますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

税理士 桃谷 茂行